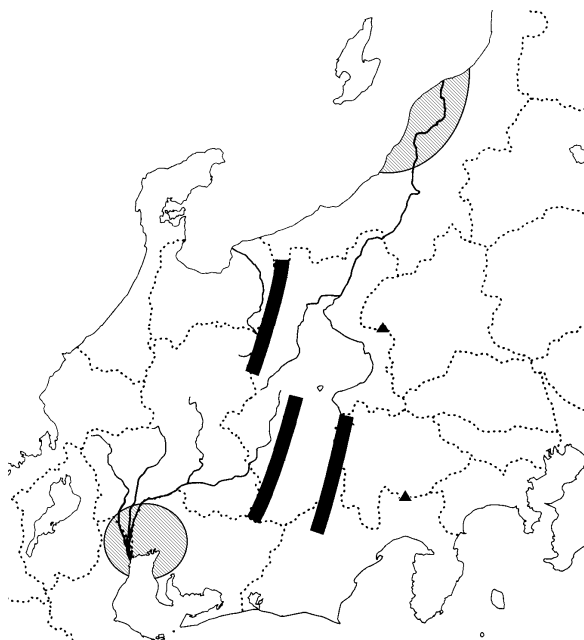


中部地方

(1) 自然と気候

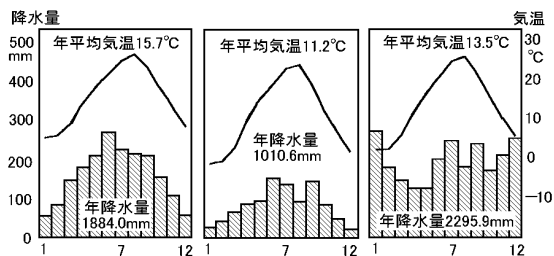
- ① 日本の屋根…中央には日本アルプスと呼ばれる_____山脈、_____山脈、_____山脈が連なり、富士山、浅間山などの火山が点在する。
- 日本アルプスから流れ出た_____川、富士川などは太平洋に、_____川、神通川などは日本海に注ぎ、これらの河川の上流には甲府盆地や松本盆地が点在し、下流には_____平野や_____平野が広がる。

[輪中]



② 三つの気候

- _____地方…太平洋側の気候に属し、冬は晴れて乾燥した日が多い。
- 中央高地…降水量が_____、内陸性の気候で冬の冷えこみが厳しい。
- _____地方…日本海側の気候に属し、季節風の影響で冬に多雪となる。

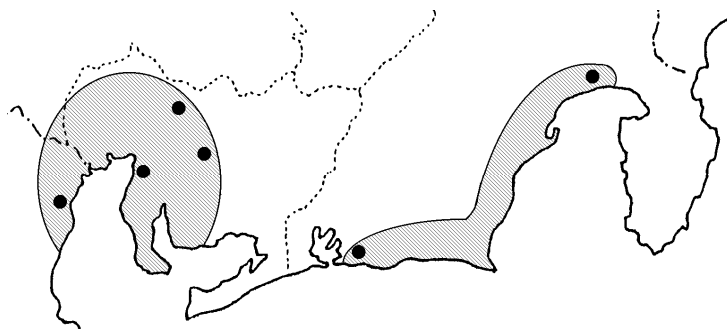


中部地方

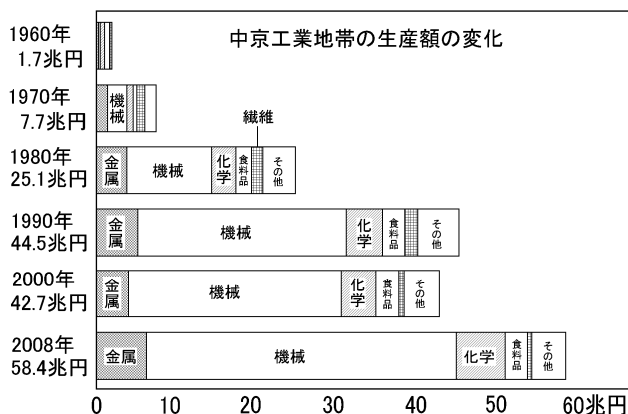
(2) 工業の発展と地域の変化

東海地方には_____工業地帯や_____工業地域が広がり、北陸地方は伝統産業や地場産業が多い。

〔工業都市〕



① 中京工業地帯… 日本最大の工業地帯で、臨海部は東海(製鉄)、_____ (石油化学)など工業原料を加工する工場が、内陸部は_____を中心に輸送用機械の関連工場が分布している。また、_____・多治見では陶磁器やファインセラミックの生産が盛んである。



② 東海工業地域… _____では楽器やオートバイ、富士市ではパルプ・製紙の生産が盛んである。

③ 伝統産業… 日本海側には冬の副業から発達した_____ちぢみや加賀友禅、_____塗などの伝統産業、富山の売薬などの地場産業がみられる。また、福井県の鯖江市では_____づくりが盛んで国内生産の 90% を占めるまでに発展した。

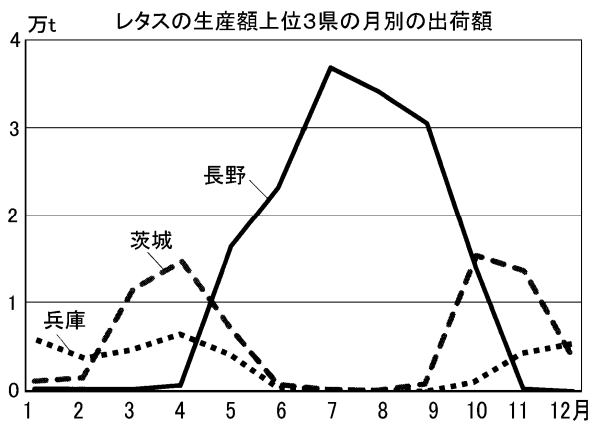
中部地方

(3) 自然環境を生かした農業

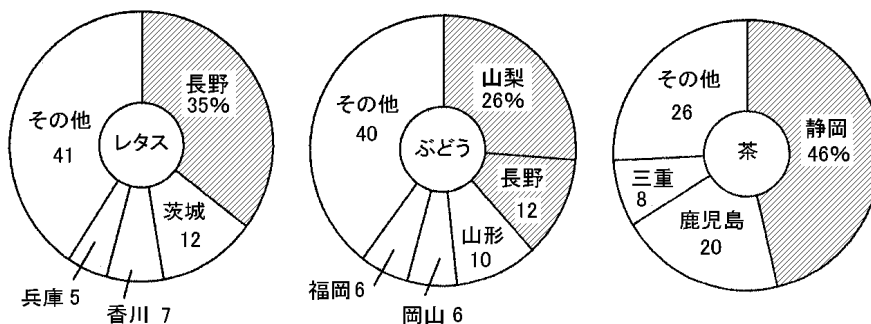
① 北陸地方… 客土による土地改良などで日本を代表する水田地帯となる。早場米の産地であったが近年は味の良いブランド米の生産に力を入れている。

② 中央高地… 甲府盆地や長野盆地にある扇状地では_____や_____、りんごなどの果樹栽培が盛んである。また、高速道路など交通網の発達によって大都市に近くなり、_____農業が盛んになり、_____農園もみられるようになった。

長野県や山梨県の高冷地では、夏でも冷涼な気候を生かした_____野菜の抑制栽培を行っている。

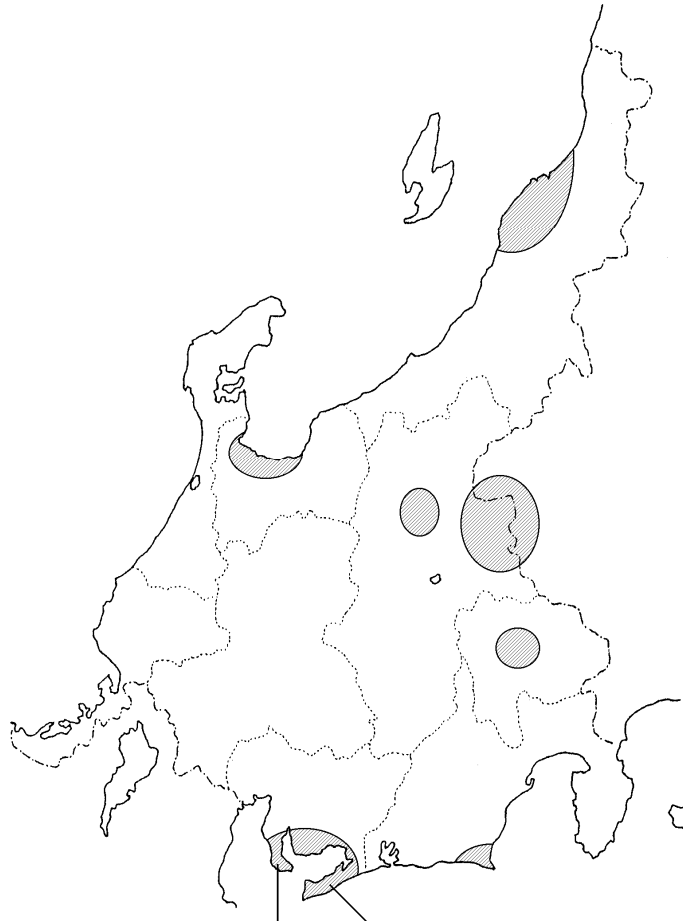


③ 東海地方… 牧ノ原は明治時代に開墾が進められ_____畑が広がる。知多半島や渥美半島は_____用水、_____用水が引かれ、_____園芸農業が盛んになった。



中部地方

[各地の農業の特色]



(4) 名古屋大都市圏

- ① 人口の多くは平野部に集中し、山間部は過疎地域が多い。東海道新幹線や東名高速道路の沿線に_____、_____、_____といった政令指定都市や多くの都市が連なる。
- ② 人口約 220 万人の名古屋市に大企業の本社、支社が集中し、周辺の都市と名古屋大都市圏を形成している。
- ③ ソ連(現ロシア)、韓国、中国などとの交流を進展させるため 1970 年代に新しい港と工業用地を造成し、1980 年代後半に_____構想が生まれ、具体策を模索している。また、_____は北陸地方初の政令指定都市となる。